



# 兵庫県立大学 環境人間学部 学部特色化のあり方 報告書概要

平成29年 6月 環境人間学部WG

・21世紀はかつてない転換期を迎えている  
 ・環境問題、人口減少、グローバル化等の課題  
 →人間の暮らしを支える豊かな環境をデザインすることが社会的ニーズとなっている

こうした変化の激しい時代にあつては、扱う事象に応じて専門分野を細分化するのではなく、人間と環境の関係性を大局的かつ学際的な観点から俯瞰する視座が重要

特色化の  
ポイント

- 1 「環境と暮らし」の視点からの再構築
- 2 基盤教育の充実
- 3 5つの専門教育（4系1課程）

## Point 1 人間と環境との関わりと教育プログラムの基本的考え方

環境人間学部における

「環境」とは

- ・人間が「暮らし」を営む上で関わる多層的な環境
- ・生活環境、社会・文化環境および自然環境

基本的考え方

### 「環境と暮らし」の視点からの再構築

人間と多層的な環境との関係を考究しつつ、学際性を重視した環境人間学を発展させる教育プログラム

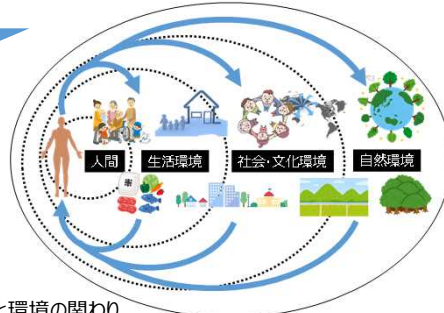


図 人間と環境の関わり

## 教育目的と育成する人材像

### ●教育目的「人間学」を基軸とする「技術」「政策」の考究

環境人間学部における

#### 人間学

人間の生き方・暮らし方の実態とあるべき姿について探求するとともに、より良い自己実現と社会参加を達成する方策を考究すること

#### 技術

人間が目標の実現や課題解決のために用いる物質的、身体的、知的な広義の「わざ」のこと

#### 政策

課題の原因を解明し、解決策を考案・提示し、実施していく営みのこと

環境と人間の暮らしに関わる課題解決



図 人間学・技術学・政策学の関係

### ●育成する人材像

環境と人間との関係を基盤に、学際的・総合的な視野に立って課題解決を行う実践力を備え、豊かな暮らしと活力ある地域の創造に貢献できる人材



## Point 2 基盤教育の充実

- 全学共通科目・専門基礎科目を基盤教育に位置づける
- 専門基礎科目に、「人間学科目」をおく
- 「人間学科目」を基軸科目と位置づける
- 「技術学」「政策学」は主に専門教育の内容で扱う

### 【人間学科目の例】

#### 「人間学Ⅰ」

人間の心身の発達

#### 「人間学Ⅱ」

生活科学・ライフデザイン

#### 「人間学Ⅲ」

市民社会・多文化共生

#### 「環境人間学基礎演習」

フィールドワーク・地域研究

#### 「ライフ・キャリアデザイン」

生き方・キャリア形成

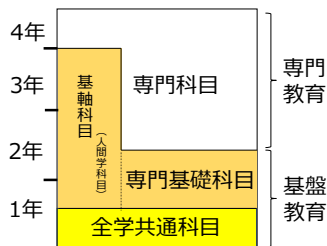


図 基盤教育と専門教育の配置

### 【専門基礎科目の例】

#### 「環境科学技術論」

科学技術の功罪

#### 「政策基礎論」

社会的課題の対策

## Point 3 専門教育プログラムの再編

### 6コース1課程から 4系1課程

- ・学部の教育目的・人材像に沿った専門系・課程
- ・柔軟な専門領域（カリキュラム）

| 系・課程    | 概要                              | 想定する進路等                     |
|---------|---------------------------------|-----------------------------|
| 人間形成系   | 人間の「精神的・身体的発達」の解明とその促進          | 健康・福祉・教育・金融・公務員など           |
| 国際文化系   | 環境との関わりから生まれる「人間の精神文化と言語」の解明と創造 | サービス・観光・運輸・公務員・国際協力団体など     |
| 社会デザイン系 | 人間が暮らす「社会コミュニティー」の解明とそのデザイン     | 金融・商社・交通・観光・マスコミ・各種団体・公務員など |
| 環境デザイン系 | 人間が暮らす「自然・生活空間」の解明とその創造         | 建設・住宅・インテリア・不動産・環境関連企業など    |
| 食環境栄養課程 | 環境との関わりの中で営まれる「人間の食生活」の解明と創造    | 保健・医療・福祉・教育・食産業など           |

理 ← 「文」からのアプローチ  
「理」からのアプローチ → 文

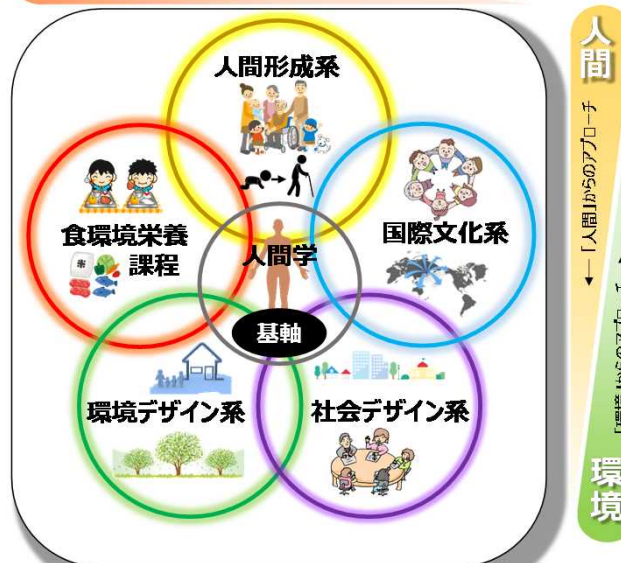


図 専門教育プログラムの枠組み